

令和3年度 第13回会計実務検定試験
実施報告及び今後の検定試験について
(令和3年10月24日実施)

資 料



主 催 公益財団法人全国商業高等学校協会

令和3年度（第13回）会計実務検定試験実施報告

1 期 日 令和3年10月24日（日）

2 会 場 45都道府県の試験場校184校

3 申込者数 6,761名

（内訳：財務諸表分析 3,602名 財務会計 2,106名 管理会計 1,053名）

過去5年間の受験申込者数の推移

単位：名

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申込者数	6,761	6,406	6,837	6,900	6,613
前年比	+5.5%	-6.3%	-0.9%	+4.3%	+20.9%

4 合格者数 3,432名

（内訳：財務諸表分析 2,145名 財務会計 953名 管理会計 334名）

過去5年間の合格者数の推移

会計実務検定試験（全体）

単位：名

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
合格者数	3,432	2,979	3,603	3,992	3,243
合格率	53.7%	48.7%	56.1%	60.8%	52.1%

(1) 財務諸表分析

単位：名

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
合格者数	2,145	2,201	2,370	2,674	2,532
合格率	63.2%	71.4%	70.1%	76.1%	72.7%

(2) 財務会計

単位：名

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
合格者数	953	546	851	863	374
合格率	47.6%	28.3%	42.7%	41.2%	19.2%

(3) 管理会計

単位：名

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
合格者数	334	232	382	455	337
合格率	33.7%	20.9%	36.4%	47.5%	42.8%

5 出題について

本検定の目的は、「現代の金融化された世界に対応できる会計能力を身に付けた人材の育成」としており、このことを踏まえて問題作成をおこなっています。

作問にあたっては、これまでにお寄せいただいた意見を踏まえ、研究部会内において難易度や表現等の調整を図り、外部監修委員の審査を受けて修正を加えながら作問をおこないました。なお、出題範囲については、当協会の定める「会計実務検定試験 試験範囲」にもとづき、学習指導要領に準拠して教科書等に記載のある内容を出題しております。

6 検定試験アンケートの回答について

(1) 財務諸表分析

- 【1】 状況をシミュレーションして試みる必要のある問題を取り入れてみました。単なる用語を覚えるだけでなくイメージをしながら考えてもらえるような問題としてみました。1については経営者の視点として作成しました。
- 【2】 金額を推定させ、そこから分析、さらに判断できるように作成しました。区分や左右の合計金額が一致するかどうか、会計処理や集計の正しさのチェックも必要です。
- 【3】 初めて純損失の出る資料を利用しました。普段と異なる数値で生徒は戸惑ってしまったかもしれません。問3は簡単なシミュレーションとしました。難しい表記となってしまったかもしれませんが、売上や原価を変えると利益の変化を見て取れますので、経営者視線からどの策を採用すればよいかといったことに触れてもらえると良いかと思えます。
- 【4】 特にご意見がありませんでした。
- 【5】 数値については実際のデータに基づいて作成しましたので、大きい部分もあるかと思いますが、生きたデータとして対応できる力があると良いかと考え出題しました。
読み取る力やシミュレーションに時間がかかってしまう生徒も多かったかと思えます。出てきた数値からあと一つ考えられるような問題としました。

(2) 財務会計

- 【1】 問題の難易度は適当であるというご意見を多数いただきました。今後も財務会計を学習する上で必要な内容を出題していきます。
- 【2】 問題の難易度は適当というご意見を多数いただきました。問4で外貨換算会計について、問5で満期保有目的債権について出題しました。両問とも誤答調査の結果、正答できなかった受験生も多かった様です。
- 【3】 問題の難易度は適当というご意見を多数いただきました。全体的なバランスを考え、2題の出題としました。問1では固定資産について出題しました。減価償却、圧縮記帳を正しく理解しているかを問いました。今後も難易度や文書表現を考慮しながら出題していきます。
問2では、新株予約権について出題しました。ストックオプションについて問いました。過去問にない形式だったため、戸惑った受験生もいたようです。
- 【4】 問題の難易度は適当であるというご意見を多数いただきました。今回は間接法による出題としました。今後も企業が作成しているキャッシュ・フロー 計算書を参考にして出題していきます。
- 【5】 問題の難易度は適当であるというご意見をいただきました。今回は連結精算表を出題しました。今後も連結精算表、連結損益及び包括利益計算書、連結貸借対照表の出題をしていきます。

(3) 管理会計

全体的に良問であった。受験生の努力が報われる良問であった。など、好意的なご意見を多くいただきました。

【4】 直接標準原価計算による損益計算書の作成については、難しいというご意見が複数ありましたが、形式的には過去にも出題されている内容であり、全部原価計算と直接原価計算の違いが理解できているかを問う内容が追加されております。問題文の中にも「全部標準原価計算から直接標準原価計算への変更を検討している。」と明記しており、標準原価カードの下にも「※製造間接費は公式法変動予算によって設定されている。」と明記させていただきました。

【5】 これまでにいただいたご意見を参考として、例年受験生に解答できるような内容の作問に努めています。しかし、教科書の例題だけでは検定試験問題のレベルを維持することが難しいため、過去の出題問題を参考としてご指導をお願いしたいと考えます

【全体】 問題に対するご意見はございませんでした。

7 令和4年度以降の変更について

令和4年度から検定の名称と試験期日を変更します。また、新たな表彰制度を設けます。検定の名称変更につきましては、昨年度発行されました全商会報（第139号）でも申し上げておりますとおり、方向性や内容、形式などはこれまでと変更はございません。これまで通り、お寄せいただきました問題に対するご意見などを参考にして、各検定の内容について研究を重ね、3観点の力を測ることのできるような問題を作成していきたいと考えます。

開催期日につきましては、12月第2日曜日に変更します。令和4年度の本検定の実施日は令和4年12月11日（日）となります。

検定名称の変更に伴う三種目1級合格者表彰の取り扱いについては、全商協会の本部の決定事項として、令和4年度からは1検定の合格が一種目とカウントされます。複数の検定に合格しても一種目だけの扱いとなりますので、御了知ください。

会計研究部としましては、引き続きすべての検定（令和4年度以降）が1級の1種目扱い（3種目）となるように全商協会本部に上申して参る所存ですが、これまでと同様にチャレンジ精神を持って生徒の可能性を引き出し、実現の喜びに報いるために「会計実務3検定試験合格者表彰」制度を新設いたします。

◇検定名称の変更(令和4年度～)

検定名称	科目名		検定名称	科目名
会計実務検定	財務諸表分析	→	財務諸表分析検定	—
	財務会計	→	財務会計検定	—
	管理会計	→	管理会計検定	—

◇試験期日の変更(令和4年度～)

毎年 12月第2日曜日 (年1回)

令和4年度（通算第14回検定）令和4年12月11日（日）

8 その他

(1) 全科目合格者

今回の検定において全科目を合格者数は49校196名でした。対象となる合格者については「全科目合格者表彰」となります。新型コロナウイルス等によって厳しい学習環境の中にあっただことかと思われませんが、全ての科目に合格され、本当に素晴らしい成果だと思います。なお、前回の第12回検定では47校159名であり、37名の増加でした。

(2) 本検定に向けた講習会について

全商協会では、現職教員の資質と授業力向上を目的とし、会計実務に関する講習会を東京と大阪に会場を設けて教員対象に開催します。

令和4年度につきましては、7月27日（水）から7月29日（金）に全商会館で開催し、8月1日（月）から8月3日（水）に大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校を会場に実施を予定しております。

是非ともこの機会をご活用いただき、多くの先生方に本検定をご理解いただき、商業を学ぶ生徒の皆様にも本検定へチャレンジすることのできる力と機会を与えていただければ幸いに存じます。

今回の報告内容につきまして、試験場校からのご質問等につきましては、お手数ですが本部校にてお取りまとめいただき、全商協会までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

令和3年度 会計実務検定試験 全科目合格者表彰一覧表

No	都道府県	学 校 名	表彰者数	
			学校別	都道府県別
1	北海道	北海道札幌東商業高等学校	4	6
2		北海道函館商業高等学校	1	
3		北海道岩見沢緑陵高等学校	1	
4	青森	青森県立三沢商業高等学校	6	6
5	宮城	仙台市立仙台商業高等学校	1	1
6	秋田	秋田市立秋田商業高等学校	8	8
7	山形	山形県立上山明新館高等学校	1	1
8	福島	福島県立若松商業高等学校	2	2
9	栃木	栃木県立宇都宮商業高等学校	9	9
10	群馬	群馬県立伊勢崎商業高等学校	5	5
11	埼玉	埼玉県立大宮商業高等学校	1	1
12	山梨	甲府市立甲府商業高等学校	1	1
13	神奈川	神奈川県立平塚農商高等学校	1	1
14	新潟	新潟県立新潟商業高等学校	5	5
15	富山	富山県立富山商業高等学校	2	2
16	石川	石川県立金沢商業高等学校	2	6
17		石川県立小松商業高等学校	4	
18	静岡	静岡県立沼津商業高等学校	1	13
19		静岡県立浜松商業高等学校	7	
20		城南静岡高等学校	5	

※平成27年度より実施

平成27年度 学校数35校 受賞者数 91名

平成28年度 学校数31校 受賞者数 69名

平成29年度 学校数44校 受賞者数141名

平成30年度 学校数53校 受賞者数201名

令和元年度 学校数58校 受賞者数237名

令和2年度 学校数47校 受賞者数159名

No	都道府県	学 校 名	表彰者数	
			学校別	都道府県別
21	愛知	愛知県立愛知商業高等学校	15	44
22		愛知県立一宮商業高等学校	3	
23		愛知県立岩倉総合高等学校	6	
24		愛知県立岡崎商業高等学校	4	
25		愛知県立豊橋商業高等学校	16	
26	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	23	46
27		岐阜県立大垣商業高等学校	10	
28		岐阜県立東濃実業高等学校	1	
29		関市立関商工高等学校	9	
30		岐阜市立岐阜商業高等学校	3	
31	三重	三重県立津商業高等学校	4	4
32	滋賀	滋賀県立大津商業高等学校	2	8
33		滋賀県立八幡商業高等学校	5	
34		滋賀県立彦根翔西館高等学校	1	
35	兵庫	尼崎市立尼崎双星高等学校	3	3
36	奈良	奈良情報商業／奈良県立商業高等学校	1	1
37	岡山	岡山県立倉敷商業高等学校	3	3
38	山口	山口県立徳山商工高等学校	1	1
39	徳島	徳島県立徳島商業高等学校	1	1
40	福岡	福岡県公立古賀竟成館高等学校	1	1
41	愛媛	愛媛県立今治北高等学校	2	3
42		愛媛県立八幡浜高等学校	1	
43	長崎	長崎県立諫早商業高等学校	1	2
44		長崎市立長崎商業高等学校	1	
45	熊本	熊本県立熊本商業高等学校	5	5
46	大分	大分県立大分商業高等学校	3	4
47		大分県立中津東高等学校	1	
48	宮崎	宮崎県立宮崎商業高等学校	1	1
49	鹿児島	鹿児島県立吹上高等学校	2	2
合 計			196	

令和3年度 第13回 会計実務検定試験 申込者数・受験者数・合格者数集計表

No.	都道府県	本部校名	試験場校数	財務諸表分析				財務会計				管理会計				合計			
				申込	受験	合格	合格率	申込	受験	合格	合格率	申込	受験	合格	合格率	申込	受験	合格	合格率
1	北海道	北海道旭川商業高等学校	13	174	164	118	72.0%	147	140	63	45.0%	66	64	21	32.8%	387	368	202	54.9%
2	青森	青森県立八戸商業高等学校	4	85	80	61	76.3%	18	18	11	61.1%	18	18	10	55.6%	121	116	82	70.7%
3	岩手	岩手県立盛岡商業高等学校	0	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0	-
4	宮城	仙台市立仙台商業高等学校	1	12	12	10	83.3%	21	20	13	65.0%	7	6	2	33.3%	40	38	25	65.8%
5	秋田	秋田市立秋田商業高等学校	3	94	78	45	57.7%	34	28	15	53.6%	40	33	10	30.3%	168	139	70	50.4%
6	山形	山形県立鶴岡中央高等学校	2	3	3	3	100.0%	3	3	2	66.7%	2	2	1	50.0%	8	8	6	75.0%
7	福島	福島県立若松商業高等学校	6	66	62	41	66.1%	56	55	20	36.4%	5	4	4	100.0%	127	121	65	53.7%
8	茨城	茨城県立古河第一高等学校	3	70	70	37	52.9%	11	11	3	27.3%	16	16	4	25.0%	97	97	44	45.4%
9	栃木	栃木県立宇都宮商業高等学校	5	133	128	105	82.0%	119	118	63	53.4%	28	28	15	53.6%	280	274	183	66.8%
10	群馬	群馬県立前橋商業高等学校	4	65	65	47	72.3%	61	61	40	65.6%	30	30	6	20.0%	156	156	93	59.6%
11	埼玉	埼玉県立深谷商業高等学校	4	45	39	28	71.8%	10	9	6	66.7%	3	3	2	66.7%	58	51	36	70.6%
12	千葉	千葉県立君津商業高等学校	3	25	23	19	82.6%	29	28	20	71.4%	7	7	1	14.3%	61	58	40	69.0%
13	山梨	山梨県立青洲高等学校	2	26	26	18	69.2%	27	26	13	50.0%	3	3	1	33.3%	56	55	32	58.2%
14	東京	東京都立芝商業高等学校	4	40	38	18	47.4%	32	31	9	29.0%	1	1	0	0.0%	73	70	27	38.6%
15	神奈川	横浜市立横浜商業高等学校	3	7	7	5	71.4%	7	7	1	14.3%	9	9	2	22.2%	23	23	8	34.8%
16	新潟	新潟県立新潟商業高等学校	1	44	43	33	76.7%	13	13	3	23.1%	73	70	12	17.1%	130	126	48	38.1%
17	富山	富山県立高岡商業高等学校	2	13	13	11	84.6%	10	10	7	70.0%	2	2	2	100.0%	25	25	20	80.0%
18	石川	石川県立金沢商業高等学校	2	34	34	13	38.2%	32	32	12	37.5%	30	27	8	29.6%	96	93	33	35.5%
19	福井	福井県立福井商業高等学校	3	39	36	21	58.3%	35	34	14	41.2%	0	0	0	-	74	70	35	50.0%
20	長野	長野県長野商業高等学校	4	26	24	21	87.5%	15	10	1	10.0%	3	3	1	33.3%	44	37	23	62.2%
21	静岡	静岡県立島田商業高等学校	8	174	160	121	75.6%	81	78	39	50.0%	73	69	32	46.4%	328	307	192	62.5%
22	愛知	愛知県立愛知商業高等学校	10	314	305	198	64.9%	276	267	148	55.4%	197	190	57	30.0%	787	762	403	52.9%
23	岐阜	岐阜県立岐阜商業高等学校	8	323	304	207	68.1%	152	145	91	62.8%	121	115	51	44.3%	596	564	349	61.9%
24	三重	三重県立宇治山田商業高等学校	4	77	71	51	71.8%	62	59	34	57.6%	19	19	9	47.4%	158	149	94	63.1%
25	滋賀	滋賀県立彦根翔西館高等学校	4	36	34	23	67.6%	23	23	16	69.6%	41	38	10	26.3%	100	95	49	51.6%
26	京都	京都府立京都すばる高等学校	1	1	1	1	100.0%	2	2	1	50.0%	0	0	0	-	3	3	2	66.7%
27	大阪	大阪ビジネスフロンティア高等学校	3	20	15	7	46.7%	18	13	3	23.1%	18	14	1	7.1%	56	42	11	26.2%
28	兵庫	兵庫県立姫路商業高等学校	8	454	424	178	42.0%	158	141	38	27.0%	13	12	3	25.0%	625	577	219	38.0%
29	奈良	奈良県立奈良朱雀高等学校	3	46	41	23	56.1%	37	31	23	74.2%	7	6	2	33.3%	90	78	48	61.5%
30	和歌山	和歌山県立和歌山商業高等学校	2	22	20	13	65.0%	9	7	0	0.0%	16	16	5	31.3%	47	43	18	41.9%
31	鳥取	鳥取県立倉吉総合産業高等学校	2	8	7	5	71.4%	1	1	0	0.0%	3	3	2	66.7%	12	11	7	63.6%
32	島根	島根県立松江商業高等学校	1	41	40	20	50.0%	7	7	1	14.3%	0	0	0	-	48	47	21	44.7%
33	岡山	岡山県立岡山東商業高等学校	9	169	165	104	63.0%	60	59	23	39.0%	13	13	1	7.7%	242	237	128	54.0%
34	広島	広島県立広島商業高等学校	3	138	128	66	51.6%	23	21	3	14.3%	12	9	1	11.1%	173	158	70	44.3%
35	山口	山口県立岩国商業高等学校	3	61	60	52	86.7%	30	30	17	56.7%	3	3	1	33.3%	94	93	70	75.3%
36	香川	香川県立高松商業高等学校	1	24	23	20	87.0%	20	19	7	36.8%	2	2	0	0.0%	46	44	27	61.4%
37	徳島	徳島県立徳島商業高等学校	3	85	78	28	35.9%	4	4	2	50.0%	13	11	2	18.2%	102	93	32	34.4%
38	愛媛	愛媛県立松山商業高等学校	6	140	133	88	66.2%	74	69	24	34.8%	31	29	16	55.2%	245	231	128	55.4%
39	高知	高知商業高等学校	0	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0	-	0	0	0	-
40	福岡	福岡県立若松商業高等学校	6	54	49	27	55.1%	55	50	24	48.0%	40	34	7	20.6%	149	133	58	43.6%
41	佐賀	佐賀県立佐賀商業高等学校	4	36	33	31	93.9%	18	23	11	47.8%	7	7	4	57.1%	61	63	46	73.0%
42	長崎	長崎県立諫早商業高等学校	6	62	60	27	45.0%	92	91	45	49.5%	2	2	2	100.0%	156	153	74	48.4%
43	熊本	熊本県立球磨中央高等学校	4	54	52	44	84.6%	39	36	19	52.8%	12	12	8	66.7%	105	100	71	71.0%
44	大分	大分県立大分商業高等学校	5	64	59	42	71.2%	23	20	12	60.0%	51	45	10	22.2%	138	124	64	51.6%
45	宮崎	宮崎県立富島高等学校	3	26	23	15	65.2%	13	13	5	38.5%	7	7	3	42.9%	46	43	23	53.5%
46	鹿児島	指宿市立指宿商業高等学校	7	170	164	99	60.4%	147	139	50	36.0%	8	8	5	62.5%	325	311	154	49.5%
47	沖縄	沖縄県立南部商業高等学校	1	2	1	1	100.0%	2	2	1	50.0%	1	0	0	-	5	3	2	66.7%
合計			184	3,602	3,395	2,145	63.2%	2,106	2,004	953	47.6%	1,053	990	334	33.7%	6,761	6,389	3,432	53.7%
令和2年度 第12回			177	3,213	3,081	2,201	71.4%	2,030	1,930	546	28.3%	1,163	1,110	232	20.9%	6,406	6,121	2,979	48.7%